京城新報

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金貳拾錢▲三ヶ月前金▲六ヶ月前金 郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久伸一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

雜報

●朝鮮人海員の有望

朝鮮沿岸に於ける船舶乘組員の狀況は汽船にありては概して日本人を用ひ帆船にありては多く朝鮮人を使役せり蓋し從來一般の狀態として技術を要する職務に對し朝鮮人の不適當なるを認められたる結果に外ならずと雖も此間に於て獨り鴨綠江渡航株式會社所有の石油發動機船のみは其船長及び機關士共朝鮮人を雇用し之は比較的良好なる成績を舉げつゝあるもの〻如し同社員の語る所に依れば目下雇用中の朝鮮人は何れも柔順に且つ忠實に職務を執行し漫りに船を離るゝが如きことなきを以て大に之を信頼せり若し混習にして海技免狀を受有するを得ば一層其手腕を認めらるゝに至るべきを以て此際相當試驗法を定められ是等朝鮮人の受驗資格を認めらるゝと俱に其試驗を各地便宜の場所に於て執行せられたしとの冀望を陳情せりと次に海員の給料に至りては船舶の大小航路の難易に依り一定の率を得難きも朝鮮人は日本人に比し無論低廉に雇用し得らるべく概して前者の三分を以て足れりと云へり前述の如き狀況に在るを以て將來朝鮮沿岸の海運發達に伴ひ經濟上朝鮮人を船舶職員として雇用するに至るべきは豫想に難からざるを以て遞時相當規程を設くると俱に海員養成所を設置し渠等の保護奬勵に努むるは又以て有益なる施設なりと云ふ

●榮山江一帶の農況

木浦光州間沿道一帶の地に於ける米作は概して一般に良好なり水害を蒙りたる地方と雖も土用入後の照込みにて非常に持ち直したれば通じて平年作以上は確なるべし又た棉花は除草期を失せるため一般に良好ならざるが如しと雖も噂の如き不作には非らざるべし蟲害は觀察道にても技手及び農林學校教官を各地へ派し之れが驅除に力めしかば差したる事なかりし模樣なり因に陸地棉は前年度の四百廿町步に對し本年度は其作附反別千三百町步即ち約三倍に上り居れば收穫高も從つて數倍するものあらん尙は光州種苗場に於ける陸地棉の滿齡は頗る良成績なりと

●警備機關復舊せず

警備機關の統一は時局解決の前提たりし今や問題は完全に解決されたるなれば該機關は近き將來に於て復舊すべしとの說巷間に傳はりつゝあるが右に就き當局者語りて曰く警備機關の統一は一時的必要に迫られて實行したるに非らざれば時局解決に依つて復舊又は變更することなきは無論にして人事及指揮に關しても從前の如く聊かの異なる處なきなりと云々

●新任郡主事の好績

先般新任されたる郡主事は一般に人民の氣受善く何れも公平にして清廉なるを賞讃せり氣受は單に人民のみならず郡守に對しても一段の歡迎を受けたるが如し开は內地人主事のなき郡衙は常に所在所管違ひの諸種官憲の爲め一種の羈絆を强らるゝ姿なりしを主事着任後は全く是等管轄違の羈束より脫し得たるによるものなりと云ふ

●消防夫健康診斷

過般民會にて決議したる仁川常設消防夫九名に對し昨十日健康診斷の上決定したる筈なり

退韓記（五）

勸韓農生

柳江兄足下、日韓二千年來の懸案たる兩國併合問題も無事「歡笑の間」に解決致され候由、每々御惠送の貴紙上に於て拜見仕り洵に兩國民の爲慶賀の至りに存じ奉り候、小生は右解決に對し滿腔の至誠を捧げて寺內統監以下各當局者並びに從來より朝鮮に關係ありて今日の礎因を築くに至りし諸氏の辛勞を謝すると共に併せて將來の對新領土策に就き多少の希望を有するものに候。頃者三浦觀樹將軍の談として傳ふる所を聞くに、將軍曰く「故伊藤公の遣り方は小間物を列べ立て多くして、夫れがため却て手古摺る事あり、或は公にして今尙は統監の位置を保たば今回の如き解決を見るに至らざるやも計られず」云々さ、小生は果して將軍の言が其當を得たるや否やを知らずと雖も、由來「れ膳立」の仰々しきは我國民一般の通弊に有之候、之れを近き例に取らば、朝鮮には是まで日本居留民團以外大小幾十の日本人會ありて、是等の日本人部落が半島の隨所に散在し居るより、一見して如何にも併合以前、既に國民的勢力を堅實に扶植し、不完全乍らも自治制を敷きて、各自其の天分に樂みつゝある如きも、深く其の內部を窺へば、事實は往々にして意外なる現象を呈し居ること有之候、尤も昨今は「學校組合令」により幾分是等の弊害は除去されたるも、戰後各地に日本人會の勃興せし時に在りては隨分無謀なる設備をなせし所尠なからず、固より小學校の新設、道路の改修等は當然りの施設を要する儀に候へども、追々土地の繁榮するに伴れ、ヤレ公設病院とか、商業會議所とか、至乃新聞社まで起して見たく、果ては出來星の成金紳士がガラクタ道具でも買集むる如く、盛んに無用の施設に操せらんとするとは誠に益なき次第にて、其結果是等不必要なる機關は何等その土地に貢獻する所なく、病院は開業醫の營業を妨害し、會議所はノラクラ者の俱樂部と化し、新聞社は紙屑を製造するのみ、毫も其の土地の發展に資する所御座なく候而して是れが費用は全日本人會員の負擔と相成るを以て、自然會員間に不平起り絕ねず這の有害無益なる設備のため紛擾を重ねた例尠なからず候、殊に日本人會の設立前には可成り圓滿に經りし地も、一たび民會の看板を揭げてより、同胞の軋轢、利權の爭奪等暗鬪の間に行はれ、却つて民會なる自治機關あるがため各自の負擔頗重く、且つ風波の絕ゆ間なき狀態にあるは、小生の屢々目擊する所に候、畢竟するに這は「献立」の大袈裟なる結果にして所謂る民團側に於ける一例なるが、更に官邊に於て之を見る時は一層甚だしき通弊を認むべく、以下少しく陳述可仕候。

文苑

文學勃興の秋（中）

閑々生

世平らかにして文學始めて發達す、世人閑に在りて文學思想始めて暢進す、故に文學家は活潑勇猛進んで浮世に巧名を立てんとする人にあらずして、一管を抱いて心は空虛に馳するの人にあり、讀者若し之を疑はゞ、請ふ世の所謂文學家を訪へ、多くは是れ神經質の多情漢なり、破情剛志の冒險家にはあらざるなり、文學界に遊ぶもの既に浮世の險難に衝るを好まず、文學界に慰を取らんとするもの、亦多くは多情にして閑散の人に在り、若し夫れ硬情剛志にして閑に同じきものに在りては文學上の嗜好は甚はだ少きものなり。文學發達の時は實に治平無事の日に在り、文學界に遊ぶもの亦た多士閑散無事の人たらざるべからず、故に文學界の春は何れの時にあるかと觀察せば實に天下治平無事にして、多少世人の心綽々として餘地あるの日ならざるべからず、若し夫れ心を文學界に馳するの餘地あらずんば、人誰れか文學に心を傾くるに餘地あらんや、人誰れか文學上の清閑を樂しむの心あらんや。余が見にして大過なからしめば、半島今日は又文學勃興の秋なりといふ、決して謬ならざるを知るべし、余は更に半島文學の秋たる所以を陳べざる可からず。

講談

大岡政談 第七十二回 越後傳吉

旭堂南陵講

郡奉行に附て居る牢屋敷、萬事のことに馴れて居る中村屋與兵衛は、牢番役人の方へ內々の袖の下、只今でいふ賄賂、昔はまいなひ、殊にその頃は賄賂が能う利目のあつたもの、根が多寡の知れた牢役人くらゐですから、黄金の色を一寸見せると何うにでもなる、佐兵衛といふ牢番頭が 佐「ハア宜しい、長いとは可けませぬが暫くだつたら合せ申しませう」金の力で佐兵衛の働きで合へることになりました、れせんは與兵衛に連られて薄暗い牢の前へ來た時は一眼眺めてモウ胸一杯になり、ブル〳〵ッと身体を顫はし 仙「叔父さん、旦那どんは彼アいふ處に這入つてでござるかのう 與「確乎しろよ」牢の前に座つて中の樣子を眺める、中には傳吉が宛然骸骨のやうな身体、今日も酷い拷問にかゝつた後と見ゑて苦しい呻吟の聲さへほそ〳〵と 傳「ウーム、ウーム……」薄暗い中を覗いた與兵衛が 與「ア、酷いことになつてるなア、早く來たらよかつたのに遲くなつたわい」口の中で私語きながら 與「小日賓田村の傳吉旦那 仙「旦那さませんでございます 傳「ハイ」微かの返辭、偶爾振仰向いた傳吉は髭蓬々として衰へた姿、宛然幽靈を見るやう 傳「オ、中村屋さん、れせんか……」と腰の拔けて居る傳吉が我を忘れて四つ這ひになつて牢格子へピタリと凭れ、凄慘な有樣のその面影を斯う格子から出したときには、れせんは宛然氣絕せんばかりの驚き、餘りの變つたことに泣くにも淚も出でず、叫ぶに聲も出ない、齒を喰ひしばつて呆然と傳吉の有樣を眺める傳吉は日夜の苦みの中にも戀しい可愛いと思つた女房のことは忘れない、眼の前に見るれせんの姿、二人は互ひに顏を見合つたまゝ眼を凝視つて無限の思ひ、この場の光景は迚も演者南陵も辨じ切れません、諸君のれ察しを乞ふ。れきます、さて稍暫くあつてれせんは袖を顏に充てたまゝウワッと聲を立てるのを與兵衛が 與「コレ馬鹿ッ御牢番も見てござる、間抜けッ、何だつてそんな大きな聲を出すんだ、確乎しろ」口には酷らいひ張ても腹の中では 與「アヽ尤もだ乃公が見てさへ驚くんだ、死で連添ふ女房がこの有樣を見ちやア起ても居ても居られなからう……旦那どん話ア承りましたが、酷いれ姿にれ成んなすつたのう、旦那どん、モツと早う聞たらこの中村屋がれ尋ねに上るんだつたのですが遲くなりました旦那どん耳は聽ねますか……ナニ聽ねる、さうですか何うか一應何ういふれ調べ向か一寸聽して下さい」牢格子の前に擦寄つて與兵衛は耳を立てる、傳吉は苦しい息の中から 傳「ハイ、ア、ー能う來て下された、私等死ぬまでに中村屋の叔父さんとれせんの顏を一眼見て死にたいと思つて居た 與「もう傳吉は再びれ眼に掛りません 與「旦那どん氣の弱いことをいつちやア可ません何だつてそんなことをいふんだ、れ前さんのやうな正直一筋な人が死んで堪るものですか、天道樣は正直をばれ照しになります、そんな弱いことをいはないで確乎としてたくんなさい、れ調べの模樣は何ういふんです……ア、概略の話は聞いたのです調べの樣子だけチョイ〳〵話しをして下さい……ヘーンなアる程、エ、何ですツて、れ奉行さんが一度れ調べになつた、フン存ぜぬ知らぬといふんだか、たゝ庭の飛石に附て居る血の足跡、衣服に附た血が證據だ、フン、何でも白狀せい、ム、拷問して……その拷問は幾度ほどれ掛りになりました……二十一日の間、ヘーン、三日目ぐらゐですか、四日目に二度ぐらゐですか……ナニ毎日々々二十一日の間欠かさず……エッ、ア、二十一日の間に二十一たびの拷問……ヘーン」中村屋與兵衛の顏がサッと赤くなつた、こんな事は法にないことだ、二十一日の間に二十一たびの拷問と掛けるといふ事は……與兵衛は思はず知らず奥齒を噛んで 與「こいつア酷いことをしやアがつた、役人がグルだナ」と胸に當つた 與「旦那どん、いま與兵衛のいふことをば確乎と聽きなさいまし 傳「ハイ 與「この上れ前さんが幾ら强情を張つて居ても、二十一日に二十一度の拷問を喰ふやうな有樣ぢや持ませんよ、最後には責殺されてしまひます、もう責殺されるまで掛けられんだから、この次の調べに旦那どん白狀しなさい 傳「私等白狀することがねゑでがす、死んでも宜いから罪を着けられて死ぬのは嫌でございます 與「サア其點だ、その旦那どんの確乎した心根がありやアこそ二十一度の拷問も受けられたんです、ナア旦那どん庄屋れうめを殺したに違ひないといふんです、白狀すりやアもう拷問は掛けません、どんな惡い事をした罪人でも、打首獄門或は磔死刑に行ふのは白狀して直ぐに行ひません、それが上のれ情だもの三十日ぐらゐはそのまゝ牢內へ置いてまた何か助けて遣る日は來ないかと御上のれ慈悲は其點にあるんで、縦られ前さんが白狀したつて直ぐに黒崎伴右衛門の方ちやア處刑を行へない」いひながら四邊を窃と見廻した。



日本人と日本臣民との區別

京城新報

併合に伴ふて種々の疑問又は誤解の生ずるは洵に已を得ざる事ながら、事甚だ輕微なるが如くにして、而かも重大なる疑問及誤解の有り得べきを忘れてはならぬ、余輩は頃ろ『韓人が日本人にナッタ』と語り合へるを屢々耳にする、朝鮮人も云へば日本人も云ふ、余輩は以て甚だ輕微ならざる誤解とし、今にして其の誤解を明かにするの必要を認むる。

余輩は韓國が日本の領土と成り、韓國人が日本帝國の臣民となりたる事實を知る、然れども日本帝國の臣民となつた朝鮮人が直に日本人となれりといふとは首肯されぬ、今日日本人と稱し得べき者は五千有余万の内地人のみにして朝鮮人は與かり得ぬのである何となれば朝鮮人は日本人たるの要素を具備して居らぬ、人種、言語、風俗歴史其地原と同系に出ども今は大なる差がある然ば等しく日本帝國の臣民に相違無きも日本人と朝鮮人とは依然區別せらるべきものだ、此の誤解の原因は、日本が國家として永き國膨張せざりし爲め内地人と新附人の區別をなすことに深き注意を拂はざる爲めであらう、臺灣と樺太とは今は我領土である、併し其住民なる臺灣人や樺太人は日本の臣民なるも日本人とはなつて居らぬ、彼等が日本人となるのはズツト後の事である、されば朝鮮人も幾年かの後には日本人と成ることであらうが、其の日本人となるには言語、風俗、習慣及生活狀態等の總てが日本人と同化した後ちでなければならぬ、余輩は其の時の一日も早く來らんことを希望するの餘り、政略上若しくは便宜上朝鮮人を以て直ちに日本人と呼稱したく思へど、社會上及政治上の資格に異同があり、且つ均しく帝國國法の保護を受けつゝも其の義務を盡す上に就いては自ら等差を設くることを必要とする今日、漫然朝鮮人を内地人同樣の日本人と呼ぶことの甚だ當無きことを信ずるものである、彼のブリテン王國を見よ、英蘭、蘇蘭、愛蘭人等同じくブリテン王國の臣民ではあるが彼等を一概に英人と稱せず同時に彼等三者が王國に對する義務上多少の等差がある。

余輩は現在に於ても名實共に日本人たる資格を有する朝鮮人の多くあることを信ずる、又他年他日朝鮮人の總てが内地人と同樣なる日本人となるべきことを信ずる、併し併合の結果半島が帝國の一部となりたればとて直ちに朝鮮人の全部が日本人となりたりとは信ぜぬ、惟ふに今後我政府も内地人も擧つて朝鮮人を同化し彼等を日本人と爲すことに勉めねばならぬ、亦朝鮮人自身は進んで同化を受け一日も早く日本人の資格を得べく勉めねばならぬ、余輩が此言を爲す決して朝鮮人を疎んずるにはあらず只一時の誤解が彼等をして他日失望せしむることなからずやを恐れて玆に辨じて置くのである。

東京電報

▲東京商會と朝鮮 東京 商業會議所は朝鮮實業開發の第一着手として朝鮮に於ける有力なる實業家と内地實業界有力者とを懇話交歡せしめ内地人の新領土に對する深厚同情の交誼を會得せしめん爲め内地商工業の實狀を目擊せしむるを頗る有利なりとし中野會頭外務内務兩局と協議贊成を求め追て役員會を開き朝鮮實業家の内地來遊を勸告すべし(十一日)

▲總督府官制の内容 同官制は統監出發前大体の決定をなしたるが統監赴任後修正を加へたる由なり今原案の要領を聞くに(一)總督官房(二)行政部(三)陸軍部(四)海軍幕僚等にして官房に副官三名秘書官二名を置き行政部長官の下には法制、外部、農商工部、内部、財部、通信の六部を置き又陸軍部には參謀、副官法官、經理、軍醫、獸醫の六部、海軍幕僚は當分參謀、副官、のみにして追て鎭海灣軍港官制の發布の上に海軍部を設置する筈なりと(十一日)

▲二百廿日の天候 目下日本海北部の低氣壓は北東に逸去したるを以て二百二十日の天候靜穩なり(十二日)

▲曾禰子爵の容態 曾禰子爵は依然昏睡の狀態にて家族との應答も出來ず命旦夕に迫る(同上)

▲日英交渉の經過 關稅改正に關する日英交渉の經過を聞くに我稅率は既に法律として確定したる以上該問題に對し妥協の餘地なく又事實の問題に就ても英國の希望を容るゝ能はず右に對し英國側に於ては報復的に我公債政策に反對すべしとの議論盛なるが利害多き我公債を放棄するは資本家の忍び難き所なり右の事情なれば新條約締結に至る迄は無條約國の狀態に陷るを免かざれるべしと(同上)

▲撫順炭問題交渉 撫順炭坑の交渉問題は大体結了せるも尙意見の一致せざる關稅及び其他の問題は結局間端に協定せらるべきも坑區域問題に就ては急遽解決を見る事覺束なかるべしと(同上)

▲渡邊院長の陞位 統監府高等法院長渡邊暢氏は特旨を以て位一級被進正四位に以下百四十餘名に夫々叙位の御沙汰ありたり(同上)

▲土木局長の後任 内務省土木局長の後任には臺灣總督府土木局長長尾半平氏任命さるべしとの説あり(同上)

▲鐵道院新廳移轉 豫て丸の内に建築工事中なる鐵道院廳舍は今程竣工したるを以て本日新廳舍に移轉せり尤も中部管理局は潮留の舊舍に殘留す(同上)

▲三池港臨時檢疫 内務省告示を以て九月十二日より福岡縣三池港に臨時檢疫を施行する事となれり

▲石塚氏一行着京 石塚參與官中山書記官等一行昨十一日午後一時十五分新橋着官民の出迎盛なり

▲石塚氏首相訪問 石塚參與官は昨夕桂首相を永田町の官邸に訪問し長時間會談する所あり(同上)

伯林電報

▲露外相の辭職說 露國外相イスボルスキー氏は辭職し其の後任は現外務次官ハフノス氏たるべし又イスボルスキー氏は巴里駐箚大使に任せらるべしと(十二日)

▲獨太子の供奉員 獨逸皇太子の極東旅行の供奉員は左の如し(同上)
陸軍中將フキルフォン、スタイン、同フォン、シエング、同少將フォンタールベルチ、エルチッチ、同少佐トルムス、ウエテル、ウエルス、外軍醫、公使書記官等なり

▲法王の力教改革 羅馬法王は新にカトリック教改革布告を發したり(同上)

雜報

副統監の急遽東上

山縣副統監には十二日午前九時南大門發列車にて大山閣、吉澤雇を隨へ急遽東上の途に上れり停車場には有吉長官、倉富、木内、荒井、俵、小宮、小松、國分の各參與官、明石司令官、國分檢事長、小宮氏、池田、菊池兩局長、古城民長、三浦理事官、中川檢事正、兒玉、久芳、山邊の各書記官其他新聞記者等五十餘名の見送ありし

副統監上京の用向

山縣副統監急遽東上に就き例の朝鮮人等は何事か重要問題の起れる如く揣摩しつゝあるが吾社の聞く處によれば右は豫定の上京にして時局解決と共に既に準備し居れるものなり且つ副統監は着任以來精細に過去の行政組織を査察し將來の施設上大に得る處あり故に最近發布を要する總督府新官制案に就き親しく閣議に列し説明を爲す爲めなりと尙は副統監は入京後參内拜謁仰付けられ時局解決前後の狀況を委細闕下に伏奏する由

結社の解散斷行

朝鮮 警務總監部は十二日午前一進會、朝鮮協會、國民同志贊成會、合邦贊成會議所、國民協成會、進歩黨、政友會、儒生協同會、平和協會、西北學會の十結社の各首領を同部に召喚し左の命令書を交付し

安寧秩序の保持上必要に就き其結社の解散を命ず

旨嚴達せり明石總監部長は該命令交付の上一場の訓諭を與へ苟くも之が爲に動搖すべからざるを戒め彼等を宣誓せしめて退出せしめたり

結社解散の光景

別項の如く警務總監部は各結社の解散を嚴命せるが元來朝鮮に於ける結社の成立は法律上存在を認むべきものに非ずして謂はゞ私的團結に過ぎず則ち時勢の必要に基くものにあらずして寧ろ寄生蟲に屬するものなり故に之が解散は當然の處置にして疾くに此事あるべかりしものなるが愈々時局も解決を告げ一層容認の必要なきに到れるを以て玆に之を斷行せるものなり而して十二日午前警務總監部は各其本部又は首領の私宅に警察官を派して出頭を促がし正午迄に來集せる面々は朝鮮協會々頭金嘉鎭、一進會副會長金澤鉉、政友會總裁金宗漢、進歩黨總裁閔泳璘の諸氏を始め其他の首領等相次いで到りたるが全部其顔觸の揃ひしは午後二時頃なり其間一同を各課に別居せしめ居りしが彼等は不意の召喚に寢耳に水の如く感じ互に心臟を躍らしつゝ待ち居りし奇觀言ふべからず而して午後二時頃に至り漸く全部集來せるを以て明石總監部長は一同を總長室に集め懇ろに時局の推移を諭し各結社の存在すべからざる所以を說き且つ解散の處置並に今後の注意を爲したるに孰れも滿足を表して退出せしと云ふ尙ほ解散の善後に就ては各首領とも至誠以て之に當る筈なれば何等の動搖をも現出せざるべく察せらる

●曹洞宗別院入佛式

京城若草町曹洞宗假別院にては今回同宗兩大本山より天皇陛下聖壽萬歲の祈念尊牌釋尊並に高祖承陽大師太祖常濟大師の木像を奉安することゝなりたるに付來る十月二日第一日曜日南大門驛に於て之れを奉迎し引續き別院に於て盛なる入佛式を擧行する筈なるが同宗の信者は固より何宗の信者を問はず陛下佛祖に對し誠意を以て奉迎すべく同日九時までに同驛へ參集せらるべしと尙は天童を出す希望者は本月二十日までに同別院へ申出ずべく既に天童の希望者並に法旗の寄贈者の申込は多々これある由

●通水式祝賀相談會 十四日午後七時半仁川俱樂部樓上に於て來月中旬擧行の水道開通式の際仁川港民は祝意を表する爲め有志者の相談會を開けり

●仁川署の佛敎講話 十二日午前九時仁川警察署樓上に於て京城本願寺日覺師を招聘し精神修養として聖德太子の十七憲法の講話を爲り

●山縣副統監の參候 山縣副統監は公用を帶び一時歸朝に付き十一日午後三時告別の爲め昌德、德壽兩宮へ參候したり

●龍山の戸籍事項 龍山民團出張所に於ける前月分の居留屆出は百三十七名退去屆出六十四名九月一日より十日迄居留屆出六十三名退去屆出三十二名

●草生大佐の歸東 入京中の陸軍省人事局補任課長步兵大佐草生政恒氏は十二日午前九時南大門發歸東したりと

●山下少佐の來龍 永興灣要塞司令官陸軍砲兵少佐山下彌太郞氏は去る十日午後龍山に來り太陽館に投宿したり

●鈴木局長の歸任 關稅局長鈴木穆氏は十二日午前新義州より歸京したり

●南大門驛乘降客 十一日の分如左
乘車客 七一六 下車客 七八六
乘車賃金 一五五八、八七

●南大門荷物扱高 十一日の分如左
發送 四九噸 到著 二五四噸
發送賃金 三三七、〇〇

●龍山驛の乘降客 十一日の分如左
乘車客 二三二 下車客 二七五
乘車賃金 一六七、六二

●龍山驛荷物扱高 十一日の分如左
發送 九四噸 到著 一一噸
發送賃金 三三三、一〇

合併後の產業振興策(二)

東洋拓殖會社理事 林市藏君談

產業振興策と云ふ問題は甚だ大きい、特に其を劃するには別に其人があるのであるから故に、私は私の立場よりして希望とやうのものを述べやう。

私の考へでは、何處を問はず、其處に現在せる產業上の要素を發揮するが最も必要なる事と信ずる、然るに朝鮮に現在せる要素は云ふ迄も無く土地と勞力であつて、而かも甚だ潤澤であるが此の天與の惠澤を發揮することが頗る不充分である、其の原因を討ぬれば政治上經濟上之を爾らしむる理由が在つたのだ、爲めに朝鮮に於ては拓殖といふ代りに、私は何か油を差すとやうの文字を用ゐたいと思ふ位に土地の生產力は衰へて居る、又人は如何なる勤勞にも酬いらるゝ處極めて寡い故に懶惰は決して天性では無いが懶惰になつた隨て勞力は發揮されなかつた、去れば是等に向つて力を盡すは產業の振興上最も必要なことゝ思ふ、内地では土地の生產力は西洋に比して甚だ劣つて居る、云はば『普通農事の入間』位の處であつて、向後啓發の余地は頗ぶる多いが、現に角一定の產業方針及之れを實行する系統が立つてゐる、が朝鮮では幾層も大なる注意と努力を要するの狀態に在るは人の皆知る處である、又三重縣の或村に於て簡易なる農事敎育を施したる結果非常なる好成績を收めた例がある、朝鮮人の勞力を十分に發揮せしめんには先づ勞力に向つて相當に酬いらるゝ外智識を與へねばならぬ、今回我會社に於て内地人を招聘したるも此邊の必要を感じたからである要するに朝鮮の產業の振興に關する私の意見は合併に依て變つた譯では無い一圖に土地と勞力の惠澤を發揮するのが最先の急務と信ずるのである。關稅問題と產業との關係は至つて簡單であるが、サテ熟考の上で無くては御話が出來ぬ。

既墾地と未墾地

朝鮮に於ける農產の現況は尙ほ甚だ幼稚の域に在りて前途大に望を囑すべきものあり今田野の既未墾地を見るに既墾地は百八十萬六千三百二十七町步にして未墾地は百二十萬三三百九十七町步を示めし更に既墾地を田畑に内譯すれば田は八十五萬三千餘町步畑は九十五萬三千餘町步なりとす而して之が耕作農民は人口七百五十一萬五百三人戶數百九十四萬二千六百九十戶にして一戶の耕作割合は九反二畝七步强に該當す其の收入一反步二十圓と見積られか一戶の收獲は百八十四圓餘に過ぎざるなり朝鮮人の貧弱なる之を見ても如り得べし故に耕作の方法は極力指導を與ゆると共に一方開墾を獎勵して未墾地の發展に留意する事目下の急務なりと

國境鐵道の連絡

安奉線竣成の曉には歐亞交通の連絡に一變動を與ふるは勿論の事にて其際には鴨綠江の架橋も成り朝鮮鐵道も連絡するべければ從來大連を經由したる内地旅客は自然便宜上行程を朝鮮鐵道に取り安奉線を通過し南北滿洲に出づるなるべく彼の日露鐵道連絡の協定にも安奉線竣了云々の條項も含まれ居るやにて朝鮮鐵道將來の有望は言を要せざる所なるがされば萬國寢臺會社にても此國境連絡線の爲め最新の車輛を供給する計劃にて目下關係當事者に付き交渉中なりと云ふ

●朴泳孝一家の歸京 過般來東萊に居を構へ靜養中なりし朴泳孝氏は十一日釜山發急行列車にて家族を携へて入京し校洞の自邸に入れり

●中村旅團長の出張 第三旅團長中村少將は十二日午前九時發列車にて水原に出張せり

●南農學博士の歸東 來京中なりし東京帝國大學教授南農學博士は十一日出發歸東の途に就けり

大同江の水運(上)

(關稅局木下技師調査)

大同江は結氷の爲め冬季不可航の缺點ありと雖も水深大にして大船巨舶を通すべく實に東洋沿岸中揚子江に亞ぐの河川たり其上流には平壤の一大市場を控へ下流には鎭南浦の開港場を擁す船の錨地としては江口を溯る約四十海里の間に於て漁隱洞、鐵島、兼二浦、保山等あり漁隱洞は江口に於ける良假泊地にして鎭南浦までは六千噸以上の船舶も容易に出入し得べし鎭南浦は目下大坂商船株式會社定期航船の寄港せる外汽船の出入極めて少數なるも平南鐵道の開通と相俟て濕船渠の完成を告ぐる曉には其運輸狀況に一大變化を來たし汽船の出入必然頻繁を加ふべく恐らくは現時の面目を一新して殷賑なる商港と化するに至らん鐵島及兼二浦は載寧江の支流に接し優に三千噸の汽船を溯航し得べし同處は主として平壤採掘の無煙炭及載寧、安岳等の鐵山より產出せる鐵鑛の積取地として視察當時已に二三千噸の汽船二隻の搭載に從事せるを目擊せり保山錨地に至る水路は多少水路の困難ありと雖も約五百噸の汽船を進め得べし曾て定期航海を同所に試みたる者ありし由なるも收支償はずして止みたりと然れども保山は沿岸の物資集散市場として將來水陸の連絡を保つ上に於て好適の地點たることを認め得べし更に保山平壤間の水路は毎出水後に於て其水深を減じ目下は滿潮時を測り僅かに喫水五六呎の汽船を辛じて通ずるに過ぎず加之風潮の關係にては時として普通の帆船すら羊角島附近の淺瀨を航過すること能はずして空しく一週日の長きを同所に待合はすの不便ありと聞く是れ實に海運業者の忍ぶべからざる苦痛ならんか想ふに將來豫定の航路標識を設け併せて此區間に於ける河身の改修を施さば風潮の如何に顧慮せず定期航海を維持することを得べし尙曳船の經營に依りて貨物輸送の途を開かば平南鐵道開通後と雖も多大の貨客を吸收せんことは差して困難のことにならざるべきを信ず

▲京城手形交換高▼

九月	金高	枚數
十二日	九八、二三〇、六四	五四一

▲治外法權▼

京城の日鮮兩商業會議所が連合して併合の祝賀に換へて懇親會をやるソウだが、之は時節柄良い思附きだ、祝賀と云ひ懇親と云ひ名はドウでも良い、望むところは本心の親睦にありだ▲只に會議所許りでなく小學生徒の連合懇親運動會亦は民團と漢城府民會との連合懇親會なども丶ツテ良いと思ふ、ナニ其筋の意向はドウかと、其筋なんか當分ホツテ置いても構はないぢヤないか▲某の曰く總ての集會は目下警察令で禁止してあると、集會の禁止、ソレは政治的意味を有するモノの事だ、明石總監が幾ら野暮でもマサカ懇親會や運動會を禁止しては居まい▲朝鮮人同化論に反對の意見を有する某の曰く幾ら骨を折つても鴨は雁にならずと、併し考へても見玉へ雀が海に入つて蛤となり、山の芋が鰻に化することを思へば鴨が雁になる位ナンでもないではないか、サウ短兵急にせずとユックリ研究し玉へ▲此頃の内地の新聞には李完用及び前各大臣が金持ちになつたの、或は不逞の徒がドウコオしたの亦は朝鮮人の慷慨家がドウしたのと不健全な記事が大分揭げてある、思ふに此種の記事は讀者を益せずして國策を害す、當局は何とか取締りをすべしだ▲言論の自由、之れ寺内統監が余輩に保障された事だ、余輩は此自由を利用し今後の政策施設に就て無遠慮に論議をしようと思ふ、併し不健全な記事を揭げて知らず〳〵不健全な思想を朝鮮人間に養成傳播せしむる杯は甚だ良くない事と思ふ▲ペキンやペトルスパアークでは我陛下が帝都を朝鮮に移し玉ふとの風說をして居るソウだ、亦た大阪の人士は大阪遷都論をヤツて居る、人の考へは十人十色中々面白いものだ▲賣笑婦墮落の徑路十四種と云ふ論文が本月發刊新公論の暗黑號に載つて居る、一實父母の强制に依るもの、二養父母の誘致强迫に依るもの、三夫又は情夫の誘致强迫に依るもの、四無賴の惡漢の誘致强迫に依るもの、五情夫に棄てられ並に欺かれたるもの、六惡桂庵に誘致强迫さるゝもの、七子の愛、親の恩に絆かされたるもの、八貧に驅られたるもの、九淫奔に基くもの、十虛榮心の滿足を買はんがため自ら陷るもの、十一失戀の結果自暴自棄的に墮落するもの、十二自己或は他の者の目的を遂げんが爲に墮落するもの、十三時代の惡習に感化さるゝもの、十四家庭の惡感化。

▲仁川米豆取引所▼

十五[illegible]八錢七錢八錢[illegible]五十[illegible]四十九錢八錢九錢▲二節四十九錢▲三節四十九錢五十錢四十九錢一方出來高二千七百五十石

▲後場(十二日)十一月[illegible]節八[illegible]五十[illegible]出來高一萬千三百石

▲大阪期米電報▼

▲前場(十二日)九月限寄十三圓八十二錢止出來不申▲十月限寄十四圓一八錢止九錢▲十一月限寄十四圓五錢止

▲後場(十二日)九月限寄十三圓八十八錢止出來不申▲十月限寄十四圓十錢止十四錢▲十一月限寄十四圓十四錢止十一錢

▲公人私人▼

▲高根信水(本町居留民長)十一日釜山行
▲野田[illegible](海軍少佐)十一日[illegible]
▲酒井孝德(公州財務監督局事務官)十一日歸任す
▲井上元成(開城憲兵分隊長)十一日開城へ歸任
▲下澤三五郎(實業學校長)十一日[illegible]

▲仁川港出入船舶▼

▲群山丸 十三日大坂より門司釜山を經て入港
▲神代丸 十三日大阪より入港
▲群山丸 十二日午後五時大阪へ向け出港

仁川米豆取引所 [illegible]十五錢八錢七錢八錢六錢五十錢[illegible]四十九錢八錢九錢▲二節四十九錢▲三節四十九錢五十錢四十九錢一方出來高一千七百五十石

▲大阪期米電報▼

▲前場(十二日)九月限寄十三圓八十[illegible]

▲後場(十二日)九月限寄十三圓八十八錢止出來不申▲十月限寄十四圓十錢止十四錢▲十一月限寄十四圓十四錢止十四錢

公人私人

▲野田鶴雄(海軍少佐)十一日釜山行

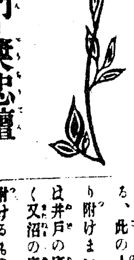
▲酒井孝德(公州財務監督局事務官)十一日歸任す

▲井上元成(開城憲兵分隊長)十一日

▲群山丸 十三日大阪より門司釜山を經て入港

▲神代丸 十三日大阪より入港

▲群山丸 十三日午後五時大阪へ向け出帆



光化門―奬忠壇

▽日曜日の自前十時至後三時

昨日は奬忠壇へ行つた、エ、何を爲にとお聞きになるか、格別何んと云ふ理由はない、イヤ理由のないと云ふ理由はないのだ、實は遊びに參つた、遊ぶと云ふ目的を懷いて行つた、本町通りのセヽコマしい所をセヽコマしく歩行と云ふことは遊山と云ふものゝ趣旨に悖る如な氣がしたので光化門通りから電車に乘つて東大門外東廟の横から迂回してと云ふ順序を取つた、光化門郵便局の遠慮したらしい――氣兼ねしたらしき建築に無上の趣味を感じ電車の内から左に觀音文珠、馬頭の諸峯を右に木覓山を仰ぎつゝ行く、豆を賣つて豆粕を買つて歸り行く農民を見る、諸君、面白いとは思ひませんか豆を賣つて豆粕を買ふ、僕は人間處世の異諦は之れに盡きて居ると思ひます、朝鮮女學生の廂髪に結びて靴を穿てるもの多くを見る、更らに之れが新蝶々や桃割や、島田や稚兒髷に結ふ樣になるのだなど思ふと嬉しい、梨峴派出所の先の與當局の前に高さ二尺巾三尺奥行二尺位の家に似た箱が置いてある、扁額して曰く司晨閣と、雞の住み家である、塵埃に塗れた而して蔦蔓に纏まれたる無慘なる東大門を慘ましげに眺めつゝ電車を東廟裏にすてて新に成りたる廟前の橋上に立つて脚下を見るサラ〳〵と音立てゝ流れ去る秋の水にも塞からぬ程に吹く風に戰く稻の上にも秋の色が充ち滿ちて居る、路の邊には名も知らぬ草の花の色とり〴〵に野を彩りて居るが排泄したものゝ容量の夥たしきものなることに感嘆しつゝ雜沓せる朝鮮人を縫ふて水口門に出る諸君及僕等一町を左に南小洞を折れて奬忠壇に入る、と萬國旗やホウヅキ提灯を蜘蛛手に張渡して盛大な野遊會を催して居る人達がある、此の人達の勢で不景氣の風も寄り附けまい、不景氣と云ふ氣は井戸の底から吹き上げるものでもなく又沼の底からも山の嶺邊からも吹き附けるものでない、皆んな人間の頭の中や腹の底から吹き上げ吹き下すもので夫れが口から靑息となり吐息となつて夫れで此の不景氣となるものだ、氣から出るの豈に病氣のみならんやだよ、時季も秋だ、溜息計り吐いて居ずと一つ大々的に山遊び野遊びを行つたら何うだ、此の意味に於て此の野遊會を催しつゝありし人は先覺者である、序を以て申すがモウ居留民根性を棄てゝ善からう、狐や狸ぢやあるまいし山の裾にばかりコビり附いて居らずと少々仙方面に發展したら如何ですよ、內地人の商人で山を下てもアの水標橋の大溝渠を向ふに渡つて居るものが少ないと云よりは殆んど一人もないと云つて宜い位だ、他人の家ぢやあるまいし遠慮して腹を空して居る奴があるものか、兎に角一つ山遊びでもして酒でも飲んで考へ直すに限るなど思ふ(ぼく)

悪周旋業者拘引

▽新渡來婦人は注意せよ

周旋業者が奸策を廻らし內地より渡來したる婦女を誘惑して酌婦仲居に住込しめ憎む可き非行を逞しふする事は屢々なるが茲に山口縣熊毛郡伊保庄村大字中村生れ原田あい(十八)は本年二月官舍下女奉行希望にて渡來し旭町三丁目周旋業者中川方に依賴したるに店員滋賀縣人杉田定次(三〇)が應接して官舍奉行は仲々六ケ敷いから他の所に周旋致す可く尙は宿屋に泊り居れば費用が多額掛るなれば自分の內に泊れと心切に說き當時の居宅太平町一丁目の或る溫突に連れ行き二三日滯在せしめ最初龍山料理屋遊仙閣と云ふ所に前借金三十五圓にて仕込せ該金の內二十五圓を騙取したるが一方あいは下女奉公の約束なりしに其後意外にも賣春婦ならうとのことに驚きて杉田に强談せしも後の祭りにて致し方なく泣々月日を經るに從て繼氣もなくなり四月頃には中之新地井筒樓に鞍替へ現今にては立派に莫連女となり居るが其の後杉田に帶の入質を依賴したるに同人は之を長谷川町野口質店に金三圓にて入質しあいには一圓五十錢借りたりとて殘餘は費消しあいより受け出しを依賴すれば言を左右に託し遂に流質せりと欺き又銘仙羽織一枚、れ召袷一枚丸帶一本(代四十圓餘)の洗張りを賴まんとの心組あるを奇貨として自分の友人に依賴してやると受負ひ羽織丈け南大門外構原洗濯屋に依賴し袷及帶は之を横領して自分の妻が花園町料理屋東雲樓に藝妓として入込むに付之を流用してあいを困らせ居る事を其筋の探知する所となり遂に去る九日引致して目下取調中なるが內地より渡來する婦女如斯惡漢の甘言に乘らぬ樣注意が肝要なり

外國漁船の遭難

▽船体乘込員とも無事

英國漁船ウキクトリア號は濟國漁船タンシー、タンホインの二隻を曳き八月五日正午上海を發し九日長崎に寄港し同日同港を出帆し露領ニコライフスキーに向け航行中十四日江原道竹邊灣の沖合に於て暴風に遭ひ船体の動搖甚しく進退自由ならざるより已むなく曳綱を解き本船は單獨釜山に引返し十八日午後更に釜山を發し沿岸搜索を爲し竹邊灣沖合に於てタンシーを發見し同船を曳き二十日元山港に入り同日右の趣き上海なる本店に打電せしにタンホインは注文津にある旨返電ありたるを以て元山碇泊中の軍艦八雲に就き注文津の位置を聞き廿一日午後同地に向ひ搜查を行ひたるに同船は注文津の北八哩なる襄陽の沖合に在りたるを發見し曳船して廿三日午前九時元山港に入港せしが幸に船体も異狀なく三隻何れも乘客貨物を積載し居らず其儘目的地に向け拔錨したりといふ

●通行妨害と放尿 南大門通り二丁目三十四番戶雜貨商大阪府平民牧野豐七(三〇)は九日正午十二時四十分頃自宅前路上に豆其他雜品を陳列し通行を妨害したる廉に因り警官に告發せられ過料金一圓五十錢に北米倉町二十六番戶古物商佐賀縣平民橫尾龍吉(三六)は九日午後一時頃自宅前路上に板其他雜品を陳列し通行を妨害せしに因り過料五十錢に南大門通り二丁目蒲鉾製造所雇人長崎縣平民吉田壽三郞(三二)は十日午前四時頃街路に放尿し過料十五錢に處せらる

●停留客車に眠る 十一日午前三時頃南大門驛に停留せる一等客車內に睡眠し居る者あるを發見し當務助役寺島順六世話役中田淺吉外朝鮮人驛夫をして取調べし所同人は廣島市西引御座町五番地草本實(十八)と云ひ所持金なき爲め宿屋に宿る事出來ざるより止を得ず爲したるものにて懷中僅に四錢を所持するのみなるにより浮浪者として南部署に引渡せし所別に犯せる罪なきより說諭の上放還せられたり

●鼠賊農家を襲ふ 蓬萊町四丁目八番戶農藤竿靜雄不在宅へ十二日午前五時三十分頃京畿道廣州郡沿浦金春明(二〇)なるもの忍び入り白米一斗五升餘外數點ヽ雜品を窃取したること西部署にて探知せられ取押へられたるが尙餘罪取調中

●正直な人力車夫 南大門通り三丁目共和組車夫佐々木晴三郞(二〇)は十日午前八時頃車輛掃除の際車上に純金メタル(代十二圓五十錢)遺留しあるを發見し直ちに會洞派出所に屆出したる品は九日中乘車したる長谷川町一丁目日本願寺僧侶靑山毅軒の所持品なりし

●搔つ浚はんとす 京城米倉町人夫業李明甫(五〇)は十日午前九時頃南大門通り三丁目藥種商小川繁太郞なる者が荷物と共に車に積載し居たる金九圓二十五錢入りの鞄を窃取せんとして捉へられ南部署に突出され檢事局送り

●仁川雜事 仁川花町一丁目豆腐屋梶山由藏は昨日午後一時頃金一圓と認印一箇を同一丁目に於て遺失又た歌舞伎座內古屋伊三郞は午後五時頃金五圓と象牙パイプ一箇を宮町一丁目に於て是れも遺失▲敷島の標客は二十九人で九十五錢四十一錢の費消金なり

●申込 『馬鹿を見た亭主』と題する記事に關し南大門通二丁目滿田政吉より該記事は全く自巳に似寄りたる廉あるも同家には全くさる事實なき旨申込みありたり

目と耳

▲壽座の今樣能樂 元來能樂は趣味聊か高尙に失し一般人士の娛樂として通俗的ならざる嫌あるは夙に世人の熟知する所なるが今回入京したる東京紫泉會長泉祐三郞氏の今樣能樂は此の點を改良したれば何人にも興味を覺へしむべしと而して本能樂は曾つて皇太子殿下及各宮殿下の上覽を辱ふし殊に伏見宮殿下御上覽の際紫泉會と命名し賜はりたる程のものなりとか十三日午後四時より初日開演番組左の如し 高砂(泉祐三郞、泉房、森岡義三、大高一郞、瀨尾平也)船辨慶(泉房、守田信光、左茂田信義、大高一郞、石田熊吉、守田信光)咸陽宮琴入(泉祐三郞、守田信光、大高一郞、石田熊吉、守田信光)紅葉狩(泉房、森岡義三、大高一郞、瀨尾平也、泉祐三郞、守田信光)末廣(淸水梅雄)三人片輪(泉祐三郞)仁王(同人)蝸牛(同人)附祝言

▲浪花館 金馬一座十三日代番組 樋助芝居(金平)ゆび寫し繪獅子の曲(金遊齋)常盤津三世相錦文章(小つま)掛万(市馬)二人ぐせ(金勝)音曲手れざり艶づくし(金登喜)人情咄し前夜のつゞき(花圓遊)曲藝ナイフ(龜治郞)尺八曲俗歌種々(花堂)笑ひたけ(金馬)大切新作喜劇〆込み

▲龍山座 壽座に於て大好評を博したる大島太夫一行は龍山數寄者連の勸めに依り十三、十四兩日間開演すと 御祝儀寶の入船(登太夫)本朝廿四孝桔梗ケ原の段(初音太夫)忠臣藏本藏下屋敷の段(組代太夫)艶姿女舞衣三勝半七酒屋の段(里太夫)心中天の網島新地茶屋の段(組榮太夫)二十三所觀音靈驗記壺坂の段(大島太夫)

公開狀

菱田義民氏の明答を促す

漢城府事務官菱田義民君足下余は未だ一見の識もなく從て貴下の職權の範圍を知らずと雖も貴下の部下の非行又は行爲に對しては事の私事ならざる以上は貴下監督權のある以上は其行爲に對しては責任を負ふ可きものなるを信ずるを以て余は眇たる一吏員の如き殊に常職の欠乏せるものを相手として論議するの愚なるが故に其監督者たる貴下を相手として責任ある保證的證明を乞はんとす何ぞや他なし貴下の監督下にある土木技手佐藤某が指揮設計中の太平町下水石垣改修工事に關して默す可からざる一大事件の伏在是なり

佐藤技手が設計による該下水工事を見るに其下水の八角形的なるにせよ又圓形的なるにせよそは道路眼なき余等の知る處に非ず只下水の放流が突當りばつたり風にて甘く流れるものなるにやと疑問を懷く位の事なれ共下水工事に際して無暗に店先の石垣を高め以て出入に非常の不便を感せしむ然れ共這は固より家の構造も又其一半の責ありと雖も見逃す可からざるは其家屋の「シキミ」下を掘り返して下水々路となしてある仕事に對して決して默する能はざるのみならず將來危險の伏在を云ふも敢て誣ひるに非ず若し一朝大雨至らんか滔々として家屋內に浸入するは未だしも床下を掘り返したる否な床下の下水道は果して確かに所有地を破壞し家屋を顚倒せしむるが如き事無きや吾人は幾度か佐藤氏又は工事監督者に不都合を責むれ共遁路を狹くする事は出來ずとて取合呉れず佐藤氏は吾人商人を以て指を咬ひて命維れ從ふの卑屈ものと見下げての冷淡なる答辨なるやを知らずと雖も吾人は帝國人民なり然り吾人は帝國憲法の下に其生命財產を保證されたるものなり今佐藤技手は吾は官吏なり的体度を以て吾人の財產破壞の危險伏在の見ねるに係らず馬鹿か無常識かは知らね共平然として吾人町民の抗議も更に容れず是等の事實は抑も菱田事務官貴下の命令なるか貴下の監督權下の一吏員より貴下の知られざる理由なかる可きを信ず果して然らんか吾人は菱田事務官貴下に向て現在の如き工事は確的に吾人の財產を破壞する如き事はなきか只吾人は不得要領の答辨を好まず責任ある答辨を得んとす否更に進んでは太平町通一圓人民は改めて政府の名に依て敷地破壞家屋破壞の安全を公文を以て保證を乞はんずんば止まざる可しと雖も余等は差當り直接の監督權ある貴下の明確なる答辨を當新聞上に於てせられん事を乞ふ

九月十二日 太平町市民 與倉市郞印外一同

菱田義民殿

●珍花サフラン種球 長野縣下高井郡延德村の宮島銀兵衞氏は多年種球の增殖を謀りつゝありし該種類は藥用としても多大の收益あるのみならず盆栽としても最も愛すべき最大輪咲の珍花種類に付今回希望者には二千名を限り送料荷造費共實費廿五錢を送る人には十月上旬より開花すべき有花性大小球取交せ十球入に栽培法を添へ何人にも直ちに逸呈する由を本社へ申來れり

●寒薔草花種子配布 既記の如く岡山縣邑久郡長船農事試驗場草花部送費袋代郵劵十錢にて送與する西洋新草花は左記の二十種なる由通知ありたり 新舶來優等撫子、同優等翠菊、同優等大花三色スミレ、同最大輪ペチユニヤ、同優等麝香連理草、同ポツピーイスランドミツキス、同ミオソチース、同優等罌粟、同矮生美女撫子、同萬重カレンジユラ、同アチモチ、同ヒヤシンス、同冬咲朝顏等なり

今日の運勢

九月十三日舊八月九日七●赤佛滅辛巳成△一白●家庭及親族の事煩累あり其他吉△二黑●起業開店相談委囑婚談に吉療病衞生に留意すべし△三碧●新事旅行見合せ遺失の害あり農業建築勤士に吉其他手控への事△五黃●請願訴訟仲裁協定の事効なし其他吉△六白●旅行轉住改革整理に吉家鄉の事累あり△七赤●諸事礙り難し色情の破れを戒しむ遺失防ぐべし△八白●保證受印世話事を禁ず其他大凡吉△九紫●悉く倒し易き日諸事謹愼の事貸借旅行建築に尤も忌む(本町五丁目三一館判斷)

●天氣豫報(自十二日午後六時至十三日午後六時)

北風曇但少雨

十一日(華氏) 最高溫度 七七、〇 最低溫度 六四、〇

平壤無煙煉炭所製造

理想的德用炭 **卵形無烟煉炭** 蒸氣機械製造

種類 一號座敷ストーブ火鉢七輪向 二號店先ストーブ風呂釜ドストル向

並に無煙炭各種廉價販賣

京城南大門通三丁目（電話九三九番）

平壤無煙煉炭所京城支店

支店開業御披露

一東京生蕎麥

今般左の處に支店を設け九月七日より開業仕候間本店同樣御贔負の程偏に奉希上候

京城太平町二丁目（四ッ角）**更科支店** 電話六九八番

京城旭町一丁目 **更科本店** 電話千百八番



開業五週年紀念大賣出し

謹啓時下愈々御清穆之段奉大賀候降而弊店事毎々御引立を蒙り御蔭を以て日増し繁榮に赴き難有奉存候扨て當店開業正に五週年に相成候に付聊か祝意を表する爲め九月一日より十月三十日迄向六十日間紀念大賣出を致し各位平素の御愛顧に酬ゆる爲め商品は總て正價の**一割五分引**特別勉强の廉價を以て差上可申候間多少に不拘御買上げの程偏に奉懇願候尙ほ地方よりの御注文品は半額前金御送付下され候へば早速引替小包にて御發送可仕候

大工道具、打刄物、和洋金物、理髮道具

京城本町三丁目 **㊇友谷商店** 電話一三一番

弊館には夜警の設備あり

統監府御好の御旅館
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水產組合指定旅館
第一各保險會社指定旅館なり

御客樣の安全此の上なし

仁川海岸 **旭屋旅館** 電話二五一

御當地天狗連之御引留に依り十一、十二日迄日延申候

竹本大島太夫

壽町 **壽座**

醇良清酒



千田鳥正宗 合資會社 仁川支店

販賣元 酒造元 發賣元

（電話三五九）

營業科目

韓國宮內府御用

和洋紙類　印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　防腐デシン　穀物食鹽　諸罐料類

發賣所

東京ランバーゾ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田座合名會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
東京…合資會社…特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）

出張所 東京南鍋町一丁目 京橋新橋三六九二 電地番十

大上商店

味噌醬油製造元
漬物問屋

特約販賣 自製

和洋酒、㈲燒酎、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物、食料雜貨、ビール、雲糀、鹽辛、日本食鹽、荒物各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進

京城本町五丁目（電話二五一番）

牛馬犬猫 入院隨意 **治療所**

京城明治町三丁目（電話四二七番）

小川家畜醫院 院長 小川龜太郞

新荷着 **酒精アルコール**

仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）

坂倉支店

●明治昭代の一紀念 何人も必ず待兼の買わねばならぬ●

韓國併合紀念繪葉書

●甲（天皇陛下 李王殿下 御尊影 / 宮城二重橋と昌德宮敎化門 / 韓國併合の明細地圖）優美なる意匠に浮上を加へたる精巧なるもの

●乙（日韓各總理大臣閣下 / 統監閣下 統監府 王城 / 韓國併合條約文）高尙なる意匠を配し箔打込をなしたるもの

●丙（天皇陛下 李王殿下 御尊影 / 條約文と昌德宮王城）金銀浮上石版數度摺の美術なるもの

●丁（統監閣下 李前總理大臣 / 韓國併合條約文）コロタイプ印刷にして鮮明あつさりしたるもの

三枚組 金二十五錢
三枚組 金十八錢
二枚組 金十五錢
二枚組 金六錢 郵稅二錢

發賣

地方營業者各位は規定割引の上代金引換へ小包を以て發送仕候發行數に限りあり賣切れぬ內至急御注文被成下度候

朝鮮風俗風景繪葉書發行元

京城本町四丁目（電九五六）

日之出商行

れ待兼の（松その）愈々開業

豫て客室修繕の爲休業中は御得意樣より日々御催促を蒙りれ待兼の段恐縮に堪へず取急ぎ修繕候處漸く準備相調ひ愈々**九月十日**より**開業**仕り候間何卒倍舊御引立の程奉希上候

長崎流 しるこ 茶碗むし むしすし

南山町二丁目

松その（電話千百八十五番）

入院隨意

京城壽町三丁目（電話三七八番）

中島醫院

院主醫學得業士 **中島貞信**

定價表 御入用の方には無代進呈仕候

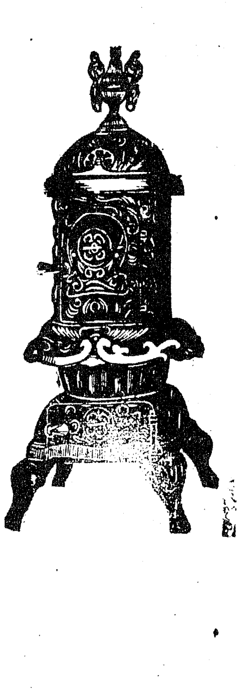
暖爐各種

並に

附屬品

煙突取附

多數御注文の節は特別勉强可致候



龍山新市街山下町一丁目（兵器支廠官舍入口）

馬木勇吉本店 電話三六四番

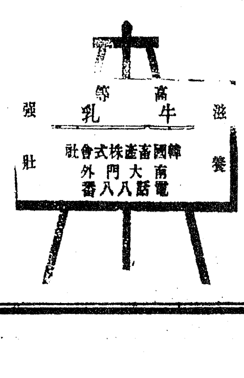
京城本町五丁目一番戶（商業會議所へ曲ル角）

馬木勇吉支店 電話四七一番

古家屋、賣買、新古材木並トタン板、雨戶、障子類一式其他建築材料一切古着、古道具、諸雜貨

京城本町七丁目京城座前

五十嵐建築材料店 電話一千四百二十四番



瀛船出港廣告

月串、甕洞、海州行

瀛船 天草丸 安來丸 成歡丸

隔日出港

仁川港海岸通（電話四一九）

柴田回漕店

㊎間出帆廣告

芙江 公州

芙江發 每日後一時（京城方面ヨリ急行接續）

公州發 每日前七時（京城方面行急行接續）

（荷客共御取扱可申候）

御用向ノ御方ハ（京城仁川鳥致院芙江公州）中條店ヘ御尋被下度候